

自民党

参議院議員

こう づき りょう すけ
上月良祐

茨城県選挙区

◆活動報告◆
号外



プロフィール

昭和37年、数人で写真製版(印刷)を営む小さな会社の長男として生まれる。

中・高時代は柔道部、大学時代はアーチェリー部で主将として活躍。東京大学法学部卒業後、自治省に入省。青森県、鹿児島県への地方勤務も経験し、地方自治行政や中央省庁改革等に携わる。

官邸で内閣官房副長官秘書官を務めた後、平成17年、茨城県へ。

茨城県では、総務部長として全国初の県住宅供給公社の破産による整理をはじめ徹底した行財政改革に、副知事として東日本大震災からの復旧・復興、全国初の外郭団体への市場からの資金調達等に取り組む。平成25年参議院議員に初当選後は、参議院内閣委員会理事、情報監視審査委員会委員等を務め、茨城県の活性化、日本の「成長」に向けて奮闘中。

[モットー] 全てのことを全力で [趣味] 加圧トレーニング

参議院議員上月良祐です。日頃より皆様には大へんお世話になっております。

異例の大幅延長となった第189回国会では、平和安全法制をはじめ、JA改革、マイナンバーの利用範囲の拡大等、国民の皆様の関心も高い多くの重要法案が審議されました。

会期途中からは内閣委員会の筆頭理事を拝命し、また、党では関東・東北豪雨等の農林水産被害対策を議論するワーキングチームの事務局長も務めるなど、ひとつひとつ経験を積ませていただいています。

ここでは、後半国会での質問をはじめ活動の一端をご紹介します。

平成27年秋

参議院議員

上月良祐

■平和安全法制の必要性について■

第189回国会最大のテーマとなった平和安全法制は、国民の皆様の関心も非常に高く、国会の内外で白熱した議論が戦わされました。私は、近年の安全保障環境の大きな変化の中で、抑止力を高め戦争を防ぐための平和安全法制は我が国にとって不可欠なものと考えています。

しかしながら、徴兵制につながるとか日本が戦争をする国になるといった根拠のない批判も多かったように思います。しかし、徴兵制については憲法上とり得ません。さらに、現代は装備が高度にハイテク化して隊員は相当の練度が求められることから徴兵制は時代に合わなくなっており、その導入などあり得ません。また、議論しているのは、個別的であれ集団的であれ「自衛権」であって、我が国から戦争を起こすことも全くあり得ないことです。特定秘密保護法の審議の際も感じたことですが、法案審議に必要なのはもっと冷静で、いい意味で専門的な議論ではないでしょうか。

審議終盤の中央公聴会での質問では、極東のパワーバランス変化の中で我が国が「限定的な集団的自衛権」を持つ意味、日本を取り巻く安全保障環境の現実、限定された集団的自衛権によって米国に巻き込まれて戦争することがあり得るのか、海洋の民主主義諸国の反応等について、専門家である公述人の先生の意見を伺いました。

今後は、与党の一員として法制度の運用にも責任を持って当たっていくとともに、引き続きその必要性等を丁寧に説明させていただきます。



■平成27年9月関東・東北豪雨による洪水被害対策について■

台風18号の豪雨により、常総市の洪水被害をはじめ甚大な被害が発生しました。

被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。何度も現場に入り、国県市が連携した万全の対策の必要性を痛感しました。

洪水を防ぐための公共事業予算の確保に加え、農業面では、流入土砂の除去、水没した農業用機械や食糧用米・飼料用米への対策等、営農継続に向けて取り組みます。

また、地域の基盤である商工業の被災への対応、さらには自治体財政への支援等について被災された方々の目線で対策を講じていきます。



■地域と日本の農業を支える農協改革の在り方について■

「地方創生」のためには第一次産業の活性化は不可欠であり、その重要な担い手でもあるJAの役割を正しく評価すべきだと考えています。

大農業県の国会議員として、普段所属していない農林水産委員会に出席し、日本農業におけるJAの意義、農業者の所得増実現の考え方、農業分野における競争の行く末をどうみているのか、農政における現場重視のあり方、飼料用米の取り組みの持続性の担保、TPP等も含め、農業政策全般について質問しました。

今回の法律を契機に改革を加速し、地域においてその存在感を見せつけるような活躍を心から期待しています。

◆TPP大筋合意を受けて◆

TPPが大筋合意に達し、農林水産業等への影響が懸念されています。

「守り」の分野には的確な対策が必要ですが、今回の合意内容をみると、今後十数年にわたり段階的に影響が生じていくことが考えられます。

したがって、今回限りでなく状況変化に応じて的確な対策が取られるよう、「中長期的に対策を担保していく枠組みづくり」が肝要と考えています。

もちろん、国内農林水産業各分野の競争力強化に向けた対策等が必要なことは言うまでもありません。

担い手の方々が将来に展望を持てるよう、しっかり働きます。

参議院議員

こう づ き

上 月 良 祐

自由民主党
茨城県参議院選挙区
第一支部長

国会事務所 〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館704号室
TEL 03-6550-0704
FAX 03-6551-0704

茨城事務所 〒310-0063
茨城県水戸市五軒町1-3-4-202
TEL 029-291-7231
FAX 029-291-8511

<http://www.kouzuki-r.com>
facebook もご覧下さい。

討議資料